

## Monthly Repo. **ならやま**

徳地 恵男

11月26日(木) 活動 晴れ 88名  
実習生4名

朝の打合せで会長より佐保台小学校で全校の子供たちがならやまの黒米を給食で食べたこと、おいしいと好評だったことが報告される。

シニア生4名も活動に参加。里山Gはコナラの伐採シイタケの収穫、マキ割りをする。エコGは秋冬野菜の収穫と補助水タンクの設置、景観Gは佐保自然の森で笹、雑木の伐採をする。ビオ班は西池水生生物調査、水路にU字溝を入れる。花班はシラン園の掘り起しをする。パトGは展望広場の準備工事とツルリンドウの保護柵を作る。果樹Gはブルーベリーにチップを敷き詰め、剪定の勉強会も実施する。充実した一日の作業の後、焼き芋のごちそうになる。

12月3日(木) 活動 晴れ 77名  
見学者 1名

コナラの紅葉でならやまが黄金色に輝く時期となる。朝の会で二上山登山の報告がある。協働活動は50名近くがヘルメットを被り佐保自然の森に集合。古木の枝や竹、刈り取った笹を片づける。里山・景観Gは引き続き林内整備に精を出す。エコGは次週の芋煮会に向けた準備をする。花班は花しょうぶ園の草引き、パトGは観察路の手すりを補修する。果樹Gはプラム、サクランボの苗木を植える。アダプト活動で国道周辺に散乱したゴミを収集する。

終礼後「マイサンタ」づくりをする。径6cm位の木にサンタの顔を描く。目やひげの付け方で様々な表情のサンタができ可愛い置物になる。会長から材料など全て用意していただいた上、指導もしていただき深く感謝。



12月10日(木) 活動 晴れ 79名  
近畿大学北川先生、学生3名

初霜が降りる。芋煮会に向けて朝からエコGと炊事係が忙しく準備をする。昼食にでた芋煮が格別に美味しく2杯目3杯目と列ができる。ならやまの野菜の恵みに感謝してみんなで味わう。昼には水生生物調査の結果を近大の北川先生から聞く。繁殖に取り組むニッポンバラタナゴの個体数が確実に増えており、私たちの活動の成果であると。日が昇るにつれて暖かくなり各グループの活動は計画通り順調に進む。クラブ・ユートピアは実践区の落ち葉かきと下草刈り。展望台広場の見晴台用に枕木が搬入される。

12月17日(木) 活動 晴れ 72名  
実習生1名

薄氷が張る一番の寒さ。今日は幹事会のメンバーは里山活動の体験学習会を実施。前半はコナラの本数調査、後半は林内を回りながら活動の実際を学ぶ。豊かな自然形成に向けた10年余りの活動を理解する有意義な学習会となる。里山Gはコナラの伐採。エコGは冬野菜の収穫、ぼかし肥づくりをする。景観Gは佐保自然の森の伐採作業をほぼ終了させる。ビオ班は池整備の準備、花班は花畑の整理をする。パトGは観察路の整備、果樹Gはハッサクの収穫をする。午後3時から場所を移してならやまプロジェクト委員会を開く。